# 97　豊かな漁場環境推進事業

**【令和７年度予算概算要求額　245（151）百万円】**

**＜対策のポイント＞**

水産業を持続的なものとしていくためには、漁場に有害な環境要因を適切に把握し、海域の特性を踏まえた効果的な対策を講じることで、漁場や水産資源の回復等を図り、豊かな海を実現していくことが必要であるため、**海域ごとの赤潮・貧酸素水塊や栄養塩類不足による漁業被害への対策技術の開発・実証・高度化**を行います。また、**漁業を規制する国際的な動き**に対し、水産資源の持続的利用が損なわれないよう対応するため、**調査・検討・普及等を進めると共に情報収集・発信**を行います。

**＜事業目標＞**

我が国の養殖生産量の維持（970千t［各年度］）

## ＜事業の内容＞

**１．海域特性に応じた赤潮・貧酸素水塊、栄養塩類対策推進事業**

① 赤潮・貧酸素水塊の**近年の発生状況も踏まえた予察、被害軽減等の技術の開発・実証・高度化**を行います。

② **栄養塩類等の水質環境について、水産資源との関係やそれに及ぼす影響の解明等**を行い、海域ごとの特性に応じた**栄養塩類管理方策の検討・策定・提供**を行います。

**２．国際的な海洋生態系保全対応のための持続的利用確保調査**

ワシントン条約（CITES）等での**国際的な議論**や**海洋保護区等に関する調査・分析**等を行い、我が国における**適切な管理措置等の検討・普及**等を行います。

**３．絶滅のおそれのある海洋生物の希少性評価**

海洋生物の希少性評価の実施及び評価のための情報収集を行い、**レッドリストの策定に向けた評価**を行います。

**＜事業の流れ＞**

国 → 委託 → 民間団体等（都道府県、研究機関を含む）

## ＜事業イメージ＞

**背景と課題**

○ 我が国の沿岸において赤潮や魚介類の大量へい死が発生

○ 栄養塩類の減少によるノリ等の色落ちや水産資源の減少

○ G7等で海洋保護を強化する動き、CITESでサメ、ウナギ、ウミガメ等の規制を強化する動き

**事業概要**

**赤潮・貧酸素水塊、栄養塩類対策**

【赤潮・貧酸素水塊】
・近年の発生状況も踏まえた予察、被害軽減等の技術の開発・実証・高度化
【栄養塩類】
・水産資源との関係の解明等
・海域特性に応じた栄養塩類管理方策の検討・策定・提供

**国際的な海洋生態系保全対応のための持続的利用確保調査**

・海洋保護区等の優良事例の調査・分析、管理措置の検討
・国際的な議論の情報収集・分析により、科学的根拠に基づいた主張・管理措置等の検討・普及を実施

**海洋生物の希少性評価**

・レッドリストの策定に向けた評価

→ 水産資源の回復

［お問い合わせ先］　水産庁漁場資源課（03-6744-2382）